

各地域で工夫を凝らした取組みを！

= 地域の平和パネル展にぜひ参加を！ =



この夏開催される戦争と平和を考える「パネル展」

名称	期間/場所	計画内容
北茨城平和の会	8月6日～8月22日 市内4カ所において 期間を区切って開催	「私の町から見た戦争」をテーマに・北茨城市に関する事柄を写真中心に展示、・戦争と平和を考えるDVDの上映、・座談会形式の「戦争体験を聞く会」など（8/19予定）
太田平和の会	8月3日～8月7日 市の生涯学習センター	「戦争の今と昔」を計画。日立市や水戸市の空襲の様子をパネルで展示。合わせて、「イラク戦争展」としてパネルで展示。
東海村平和委員会	8月7日 東海駅前	東海村の夏祭り（8/7）に合わせて「原爆パネル展」を計画。パネルは、東海村で購入している。
那珂平和の会	8月6日～8月15日 市内全域	平和宣伝活動（宣伝カーによる流し宣伝）を計画している。
水戸西平和の会	8月6日～8月8日 いばらきコープ/菜の花	「沖縄展」「原爆展」（主旨として「抑止力」「安保」を深く考えよう・捉えようということを訴える）
内原・友部平和の会	7月27日～8月8日 笠間市立友部図書館	「親子で見る戦争展」（どのような内容にしてアピールするか、鋭意検討中）
土浦平和の会	8月1日～8月7日 県南生涯学習センター	「人間と原爆展」を予定。（県南生涯センターは、土浦駅前）
	8月15日 土浦市民会館	13:30～「2010年 平和のつどい」（実行委員会） 講談：神田 香織「チェルノブイリの祈り」 報告：「茨城の原子力施設は安全か」（中村 敏夫）
阿見平和の会	8月20日～8月22日 本郷ふれあいセンター	「原爆戦争展」を計画している。
守谷平和委員会	8月5日～8月19日 守谷市中央公民館ロビー	「沖縄戦」の平和パネル展を予定している。（守谷の戦争展は、昨年からの市の後援を取り付けている。）
莒崎平和の会	8月9日～8月12日 莒崎公民館のロビー	「原爆パネル展」を計画。その時に新婦人と協同で反核署名も計画。 8/8(日)：9条の会と協同で、DVD上映、戦争体験を聞く会を計画。
取手平和委員会	8月22日	「平和のつどいin取手」として保健生協、革新懇・新婦人と協力し平和パネル展（原爆パネル・イラク戦争）、読み聞かせコーナー、平和アニメ上映、すいとん販売、被爆者の戦争体験を聞くなど多彩な催しを予定。
ふじしろ平和の会	取手福祉会館	
鹿行平和委員会	8月中旬	潮来図書館で平和パネル展を予定。
石岡平和の会	8月予定	事務局会議を経て報告する。
五霞平和友の会	8/15に200部程度平和ニュースを作成し、会員に配付。9/9浄土宗のお寺の住職の協力で鐘つきと講話。	
古河平和の会	8月上旬に市庁舎の中で原爆パネル展を毎年開催（市政の一環であり、平和の会としては計画なし）	

八千代、城里、花だいこん、下妻などで実施検討中。

水戸西で沖縄展・原爆展を企画

水戸西平和の会・松原 日出夫

「戦争と平和を考える特別旬間」が近づいてきました。私たち水戸西部の地域では、平和の会と地域の「九条の会」など三団体の共催で「茨城の戦争展」を3回（年）開催してきました。主として、茨城県平和委員会作成のパネルの展示会でした。

昨年は、地域に在住するシベリア抑留者・三村節さんの好意で「シベリア抑留展」を特設して、たいへん好評でした。

共催団体と平和の会で、今年はどうな展示内容にするか、について相談を重ねた結果、「沖縄展」と「原爆展」を特設することにしました。

パネルは県平和委員会にある「戦場の人びと(沖縄戦)」と「原爆展」の組写真を借用することにしましたが、さらに論議がすすむ中で、「いまの沖縄県民の意思を示す展示がほしいな」ということになり、第2部として「基地の中の沖縄」を作成して展示することになりました。いま、その具体化とパネル作成をすすめています。構成は、[沖縄の米軍基地]-[米軍による被害]-[世界一危険な普天間飛行場]-[沖縄県民大会]-[徳之島集会]-[米軍は抑止力か]-[日米安保の見直し]-[世界に広がる非同盟諸国]など、大・中判パネル10枚前後です。

参議院選挙後、消費税と普天間問題が、大きな山場をむかえるのではないのでしょうか。「米軍基地ノー」の沖縄県民の意思をかちとるために、本土での世論づくりは大事です。この展示が、その役割をいささかでも果たせたらな、と準備をすすめています。

なお、私どもの展示会は、8月6・7・8日の3日間（いばらきコープ菜の花福祉センター）だけです。粗末なパネルですが、使用を希望される方は、県平和委員会に申し込んでください。

平和新聞	2010年7月15日（木曜日） 1930号（毎月5,15,25日発行）
1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会	
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館 (郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277	
平和かわら版	平和新聞茨城版 No. 568 2010.7/15
発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281 Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp	

おぞましい事実を眼を背けることなく……



= 「陸軍登戸研究所」を訪ねて = 北茨城平和の会・藤田稜威雄

● 「人は、都合の悪い体験は語りたくないものである。

戦争体験を継承することの難しいところであり、事実を語りたくない。だが、そういう方々から学ぶ私たちの姿勢にも問題があるのではないか。」……「私の街から戦争が見えた/ 謀略秘密基地・登戸研究所の謎を追う」川崎市の市民グループが発行した本の一節です。

” 隠蔽された謀略秘密兵器開発 ”

● 「登戸研究所」って何？

北茨城の町に風船爆弾放球基地本部（大隊）が存在したことを知ってまだ3年目。その「風船爆弾」を謀略秘密研究所「登戸」が毒ガス、細菌兵器の開発と同時に研究開発をしていたとは……。

「北茨城・九条の会」で2年前から8月に開催してきた「平和展」も今年で3回目を迎えます。新たな事実の発見掘り起こしができないか、そして第1、2回の「平和展」にミニチュア風船爆弾を貸して下さった川崎市の市民グループの方と交流が図ればとの思いで、北茨城・九条の会の世話人の一人・西村さんと2人で明治大学構内「登戸研究所資料館」を6月15日に訪問しました。

● 訪問当日は、休館日でしたが宮永さんの取り計らいで、苔むした研究所跡、研究所の一棟を改装した資料館を見学することができました。はじめに案内された場所が「動物慰霊碑」でした。中国人捕虜を細菌兵器開発の人体実験にしたという、あのおぞましい事に「登戸」の研究者が関わっており、その罪の重さに耐えられず密かに人間⇒動物と偽り慰霊していたのではないか、との説明でした。森村誠一著「悪魔の飽食」で受けた衝撃を思いだしました。改装オープンされた資料館も毒ガス、細菌兵器の研究室だったよし、重苦しさを感じてしまいました。

● 資料館の展示内容は、細菌兵器ほか殺人光線の研究、中国の偽札印刷、スパイ謀略の中野学校で使用された小型隠しカメラの開発などが展示されておりました。これらの事実は、戦時中は極秘中の極秘であり、戦後しばらくしてからその全容が

徐々に明らかにされてきたそうです。「登戸研究所」の存在を風化させてはならない、ということで研究所の保存を求める市民グループ、特に当時研究所に勤務されてきた高齢者の方々の硬い口を開かせたのが高校生グループで、その活動が大きく、市政を動かし研究所保存に繋がったよし。

● 昼食はキャンパス内の食堂、大きな食堂に溢れるばかりの学生の明るい声。このエネルギーを平和活動に向けて欲しい。そう願いつつ「登戸」を後にしました。新たな事実を知り、現地の空気に触れられたことに満足感を覚えた一日でした。

追記：風船爆弾に細菌兵器が搭載されたのでは？⇒ アメリカの報復を恐れ細菌兵器ではなく焼夷弾・通常爆弾を搭載し、放球したようです。



多くの市町村・地域から 代表を送ろう！

= 原水爆禁止世界大会 =

茨城県原水協事務局長・岩清水 理

NPT第8回再検討会議は、「核兵器のない世界」へ具体的な道筋をつけるため、世界の反核・平和運動の役割が極めて大きいことを示しました。今年の原水爆禁止世界大会は、次のステップにむけて運動を画期的にひろげていく重要な催しとなります。大会は、8月2日～4日：国際会議（広島）、4日～6日：世界大会・広島、8日～9日：世界大会・長崎の8日間です。

茨城県原水協は、広島に50名以上の代表を送ろうと呼びかけています。広島大会の開会総会（4日）は、非核・非同盟諸国の政府代表、国連代表者、広島市長、各国の反核運動団体などが報告を行います。2日目の分科会は、テーマごとに対話と

討論ができるほか、「映像と学習のひろば」「青年のひろば」「高校生企画」があり、4つの「動く分科会」も好評です。被爆65周年の日・6日は、広島市主催の平和記念式典（8:00～8:45）につづいて閉会総会があり、ヒロシマから世界へ重要なメッセージが発信されることとなります。

ぜひ、多くの市町村・地域から代表を送りましょう。

- ・参加費（東京・広島の往復交通費・ホテル2泊代・大会参加費・募金）
 - 一般：69,500円、 大学生：61,000円、
 - 高校生：55,500円、 中学生：50,300円、
 - 小学生：31,300円
- （3泊の場合プラス7,500円、小学生はプラス6,000円）
- ・第2次〆切り：7月15日（木）
- ・第3次〆切り：7月24日（土）

沖縄基地視察ツアーの 事前学習会と説明会のお知らせ

激動に向う沖縄基地の現状をどうとらえたらいいのか。県平和委員会はまずは「この目で沖縄を見よう」と別紙チラシのようなツアーを企画しました。

基地視察だけでなく、宜野湾市長、琉球新報論説委員の講演、名護市辺野古でたたかっている人々との交流。茨城にあってはできないツアーを企画しました。

さらに、ツアーを充実させるために下記の事前学習会・説明会を開催します。ツアー参加者は必ず出席して下さい。

記

と き：8月11日（水）午後1時30分～5時

と ころ：県立青少年会館（県立歴史館前）

テ マ：「ツアーのための事前学習」

米軍基地と県民の生活を考える

報告者：伊達 郷右衛門さん

ツアー説明：旅行会社、大宮 毅さん